

ト★ 東星学園だより

TOSEI

東京都清瀬市梅園 3-14-47 TEL 042-493-3201 <http://www.tosei.ed.jp>

□ 西武池袋線秋津駅 南口 徒歩 10分 □ JR 武蔵野線新秋津駅 徒歩 15分

vol. 22

白か黒か？

校長 大矢正則

怒りは神からのプレゼントです。人間になくなくてはならないものの一つです。生き延びるためにも体と感情が成長するためにも必要な反応なのです。ほんとうの自分を成長させるために怒りを活用しましょう。

上の文章は、リサ・エンゲルハート他著・目黒摩天雄訳『怒りセラピー』（サンパウロ、2012年）という小さな冊子の書き出しである。

いうまでもなく、怒りは基本感情の一つで、動物が進化の過程で獲得してきた生き残るための素早い情報処理と反応を引き起こす仕組みの一つである。基本感情としては他に、悲しみ、喜び、驚き、恐怖、嫌悪などがある。怒りはその中でも原始的な感情で、自分の縄張りが侵されることによって、そのプログラムが起動し、攻撃などの反応を引き起こされる。よって、冒頭に引用した文章のように、私たちが生き延びるために神様が与えてくださったという説明は説得力がある。

ところで、問題は、引用文章の最後にある「怒りの活用」である。ついさっき述べたように、怒りの感情は、攻撃などの反応を引き起こす。この「など」の部分に注目したい。

古典的な理論としては、アメリカの生理学者 Cannon (Cannon, W.B.) が提唱した「fight-or-flight response」がある。これは、日本語では、「闘争か逃走か」と訳される。つまり、動物は怒りや恐怖といった感情が起こった場合、闘争する（攻撃する）か逃走する（逃避する）かのどちらかを選ぶというのである。

ところで、怒りの感情を掌る脳は扁桃体という小さな部分であるが、その後、どのような行動をとるかを掌る脳は前頭前野という部分であることが知られている。脳に占める前頭前野の割合は、進化した哺乳動物ほど大きく、人間の場合、30%近くを占めている。

因みに、ネコで3.5%、イヌで7%、サルで11.5%、チンパンジーで17%であるという。いかに人間の脳に占める前頭前野の割合が高いかわかる。

したがって、人間の場合、怒りという感情が湧いた場合、「闘争か逃走か」という反応以外にも取り得る選択肢がある。もちろん、攻撃に出てしまうこともあるし、忘却したり逃避したりといった単純な反応に出ることもあるうけれど、たとえば、自分に怒りを生じさせた相手と冷静に交渉したり説得したりすることもできる。あるいは、自分を怒らせた相手以外の誰かに相談したり、援助を要請したりすることもできる。このような交渉、説得、相談、援助要請はすぐれて人間らしい反応であり、その人を成長させる。まさに自分を怒らせた人を通して与えられる神からのプレゼントだ。

次に、別の角度からも怒りの話をしてみたい。それは、そもそも私たちはなぜ怒るのかである。それは、私たちがそれぞれ様々な思考の癖を持っているからだ。一つだけ例をあげておくと、「all-or-nothing」的な思考である。何事も「白か黒か」「正しいか正しくないか」を決めなければ気が済まない思考の癖のことである。このような思考の癖（特性）を持っていると、それははっきりさせない人たちに怒りを抱きやすい。

実は世の中で起こっている出来事は、「白か黒か」「正しいか正しくないか」、あるいは「善か悪か」といった二者択一で割り切れるようなことばかりではない。それどころか、世の中は、殊、人間関係のこじれ等は、一方が「白で正しくて善」であり、他方が「黒で正しくなくて悪」であると割り切れることは、ほぼない。どちらにも考慮されなければならない事情というものがある。つまり、白でもなく黒でもないグレーなゾーンがある。そして、神様のプレゼントは白にも黒にも隠されてはいない。それらは人間の目に見えているものだからだ。神様からのプレゼントは、グレーゾーンにこそ隠されている。神様はここから何かを探し出せと仰っており、教育とはここを見つめる営みである。

中学校・高等学校

学習旅行を終えて

学習旅行企画委員 中等部3年1組 Y・A

私たち中学3年生は、昨年の12月から学習旅行に向けて準備を始めました。何度もプレゼンテーションをし、話し合い、「長野県」へ学習をしに行くことに決めました。そして、一人一人が想いを込めたテーマの案を出し合った結果、私たち59期は学習旅行のテーマを「infinity」に決定しました。「infinity」とは「無限大」という意味で、私たち59期の個性と可能性を、今、そしてこれから関わる全ての人にとってほしいという想いが込められています。学習旅行のテーマに英語表記のものが起用されたことは今までにありませんでした。そのため、しおりの1ページ目には毎年筆で書かれた学習旅行のテーマが大きく載るのですが、今回はレタリングされたテーマを載せることにしました。また、「infinity」のみではなく「無限大」も載せることで、意味が強調されるように工夫しました。

私たち59期にとって、学習旅行は中学生になってから初めての宿泊行事でした。新型コロナウイルスの流行によって、中学1年生のときに行く予定であった



宿泊オリエンテーションが中止になってしまったためです。他にもバザーなど、楽しみにしていた行事を思うようにできないということが続いており、だから

こそ学習旅行には必ず行って目一杯学び、楽しみたいという想いが一人一人にありました。そのため、企画を進めるにあたって強く言い過ぎたり、意見が対立してしまうのは避けようがありませんでした。なので、その度に学年目標であるお互いを尊重しようという意味の「和(なごみ)」を思い出して、何度も話し合いを重ね、生じた問題を解決してきました。いくつもある意見をまとめることは簡単ではないにも関わらず、投げ出さないうちにと話し合いができる場所は、自慢したいこの学年の良いところの一つです。今回の学習旅行の企画では、この良いところを発揮できる場面が多くあったため、個性溢れる59期らしさが最大限に詰まった素晴らしい学習旅行になりました。

学習旅行1日目ではカトリック軽井沢教会に行きました。軽井沢はプレゼンテーションの時から学年全体で行ってみたいと話しており、その熱量が先生方にも伝わって全体学習で行くことになりました。2日目の班活動では農業班、文化班、自然班、工業班、歴史班に分かれ、各班それぞれの学びたいものを学ぶことが出来ました。現地の方々には、班活動の際に次の行き先までの道を教えて頂くなど、とてもお世話になりました。そして、3日目の全体学習では善光寺に行きました。7年に1度の御開帳だったためとても混雑していましたが、すれ違う方にお声をかけて頂くなど、色々な方と交流できて嬉しかったです。

学習旅行に行ったことによって、私たちはとても成長出来たと思います。全てを1人でこなそうとせずに仲間に頼ることや、率先して自分が出来ることをするなど、たくさんのことを学ぶことが出来ました。学習旅行で経験させて頂いた多くのことをヨゼフ祭で伝えるのが楽しみです。今回このような素敵な学習旅行が出来たのは、学年の皆、先生方、家族など、関わってくれた全ての方々のおかげです。本当にありがとうございました。

被災地ボランティア

宗教部

3年ぶりに福島県南相馬市での被災地ボランティアを実施しました。カリタス南相馬の受け入れ人数削減を受けて、1班、2班に分けての実施でした。現地では、野外活動及び現地視察を行いました。参加者からの声をいくつか掲載します。

『福島県ではボランティアに参加しなければ知らなかった事が沢山ありました。テレビやネットでは知らなかった現地の人達の思いや、11年前の震災に影響を受け、支援をしてきたボランティアの方々の体験。いつ自分に起きてもおかしくない事なのに、初めての経験ばかりで勉強になったと同時に、これから災害を他

人事と考えずに自分事と考えていきたいと考えさせられました。(高3女子)』『僕はこの被災地ボランティア活動に参加できて本当に良かったと思っています。理由は東日本大震災の跡地や、地元の人からの東日本大震災で起きた事などを具体的に実感できたからです。(高2男子)』『今回の被災地ボランティアを通して10年前の震災の残酷さを改めて感じました。今回の体験を通して被災者のために何が出来るか考え行動していきたいです。また被災地ボランティアだけでなく多くのボランティアに参加し、誰かの手助けをしたいです。(高3女子)』



彩（いろどり）の夏稽古

茶道部部长 高等部2年1組 S・T

私たち茶道部は3年ぶりに夏休みのお稽古を実施することができました。今年はまだコロナ禍での部活動となりましたが、3日間という限られた期間の中で多くの部員達が参加し、感染対策を徹底しながらお茶を点てお菓子をいただくことができました。

夏休みのお稽古では普段の部活時にはできない所作を学ぶことができます。例えば「浴衣」を着てのお稽古です。浴衣を着付けすることで、和装ならではの立ち居振る舞いを学ぶことができます。浴衣は自前のものを持っていなくても学校で借りることができますし、また初めてでも先生が教えてくださったり部員同士で助け合いながら着ることができるので、浴衣の着付けは夏休みのお稽古のお楽しみの1つです。

新入生は普段のお稽古をより深く、またゆっくりと

確認することができました。上級生は季節のお点前である洗い茶巾や葉蓋点前のお稽古をしました。

今日現在、まだコロナの感染が猛威をふるっている状況なので、今年のバザーでは皆さんをおもてなしできませんが、いつでもお茶席を実施できるよう私たち茶道部員は引き続きコツコツと日々練習を重ねていきたいと思っています。



保健室より

養護教諭

新型コロナウイルスが流行し始めて3年目。今年の夏休みも感染者の増加が著しく、行動制限はなくても自ら旅行や帰省などの活動を控えた家庭も多かったと思います。その中でもみなさんは、何かしらリフレッシュ出来たでしょうか。

夏休みが終わり、秋は、テストや体育祭、バザーなど、行事が盛り沢山です。昨年までは出来なかった行事が、少しずつできるようになってきているので、今年はみなさんにとって初めての体験も多くなり、忙しくなるかもしれません。日中はまだまだ暑さが続きますが、朝夜は気温も下がり始めるなど、体調管理が難

しい季節となってきます。夏休みを引きずっている人、暑さで体に疲れがたまっている人は、規則正しい生活を意識し、生活リズムを立てなおしましょう。

東星学園の保健室は、学園で一つのため、小学生や中高生、時には幼稚園児と、来室者はさまざまです。突然なケガの応急処置や体調不良の対応のほか、園児・児童・生徒が、生涯にわたって、自分の健康について自分で考え、自分自身で管理・解決していける力を身につけ、育てていけるように相談・支援・指導をしています。ここ数年は新型コロナウイルスでもちぎりの世の中ですが、その中でみなさん一人一人が、この感染症を通して、健康と生活について振り返り学ぶ機会にもなりました。これからも保健室では、体も心も健やかに成長してほしいと願いながら、皆さんがよりよい学園生活を送れるように努め、支援しています。

夏期講習

数学科・理科

7月21日から26日まで夏期講習が行われました。講習は主要5教科を中心に開講され、主に基礎的な内容定着のための“補習コース”と、普段の授業では扱わないような発展的な内容を行う“学力増進コース”が行われました。補習コースでは、自分がわからない所の学習に向き合います。どの学年も真面目に取り組んでおり、質問したり、生徒同士で教えあったりする姿が多く見られました。苦手な教科にもこうして向き合い、先生方や仲間と協力しながら学習を進めることで、夏休み前までの学習内容を振り返ることができました。

学力増進コースに参加した生徒は、数学も理科も好

奇心に満ち溢れている様子で、少し難しい内容にもチャレンジし、楽しみながら内容を深めていました。数学では入試レベルの問題などにも挑戦し、受講した生徒からは「充実した日を過ごすことができました」と講習に満足していました。

理科では学年ごとに様々な実験を行いました。中学2年生ではダイヤモンドを燃やす実験を行いました。生徒たちは今まで学んだことから結果を予想します。実際行なってみると、生徒が予想していた結果とは異なり、驚く様子はとても印象的でした。高校1年生は、光合成色素の抽出分離実験や、土壌動物の観察などを通して普段目に見えていない生物の存在や仕組みなどに触れました。教科書には載っていないような内容を学ぶことができる夏期講習。今後も学習意欲や湧き出る好奇心を大切にしながら今後の学習をさらに深めてくれると嬉しいです。

小学校

音楽会を終えて

音楽科

7月13日（水）、第6回音楽会がフロジャック館講堂で行われました。

通常なら隔年の行事なのですが、前回予定していた年がコロナ感染拡大防止のため、やむなく中止となったことで、何と今回4年ぶりの音楽会となりました。

また、午前中は児童同士が聴きあう時間（2時間目低学年、3時間目高学年）、午後は保護者に聞いていただく時間（5時間目低学年、6時間目高学年）というように時間帯を分けて行い、出演する児童はマスク着用で歌ったりするなど、様々な場面で感染防止に努めてきました。

4年ぶりという事で、前回の音楽会を経験している学年は5年生と6年生しかありませんので、そのほかの学年は「初出場」という事になります。

感染防止という事もあり、音楽会の準備を始める前までは十分な歌唱指導の時間が取れず、このまま音楽会の活動に入ってまともに歌えるだろうか、という心配もあ

りましたが、そこは東星に通う子どもたちです、授業で活動が進むにつれ、あの「東星の歌声」が戻ってきた感じをつかみとることができました。今回どの発表も、学年単位で行いました。感染防止のため、音楽の授業以外で歌う事（朝の会や帰りの会などで）はできませんでしたが、また、マスクをつけての発表だったので、歌っているときの表情など、十分に読み取ることはできなかつたのですが、歌声だけを聞いても、そこには確かに「東星の歌声」が存在していたことを確認できたことはうれしい限りでした。

また、大勢の保護者の方に聞いていただくことができ、本当に感謝です。

2年後の音楽会は、是非マスクを外して、学年の歌や楽器の演奏だけでなく、小学生全員で歌う「全体合唱」や、先生方の歌の発表も行うといった、従来の音楽会の形式にもどして行いたいものです。



修学旅行

6年担任

昨年も一昨年も行けなかった宿泊行事、今年の6年生はなんとか行くことができました。

事前の集まりでは例年と違い、質問があふれました。はじめての宿泊行事で楽しみにしつつ、不安も大きかったのだらうと思います。そこから慌ただしく準備をします。まず、係を決めます。中心になる旅行委員と食事、風呂、しおり、レクの係です。今年は全員が何らかの役割を担当します。

部屋割り、バスの座席、大人からしたら、たった一泊二日（例年は二泊三日を、はじめての宿泊のため期間を短くしました。）ですが、誰と同じ部屋になるか、バスで誰と座るか、は6年生にとっては非常に重要な問題だったようです。

当日を迎えました。始まってしまえばあっという間です。それでも24時間、家族以外と過ごすことが初めてだという子もたくさんいたようです。

初日は大きな鳥が頭上すれすれを飛ぶ富士花鳥園でのバードショー、夜の富士山が印象的だったキャンプファイヤーを経験し、翌日は真夏でも零度近い富士山麓の風穴に入洞し、樹海を歩きました。

普通、東星学園小学校の子たちは4年生で初めて宿泊行事を経験します。4年生になったそのときから心配し

ている子もいます。二泊三日の夏期学校。それこそ、おうちが恋しくなって、布団の中で泣いていた、という子もいます。そんな子も翌年には、4年生に先輩風を吹かせます。いざ宿について、何も知らない男の子たちが上履きのまま畳の部屋に上がり込んでいったこともあります。毎年、部屋をノックする音がして開けると誰もいない「トントンダッシュ」のいたずらをする者がいます。4・5年生で行く夏期学校、4年生以上の希望者で行くスキー教室、を経て、6年生修学旅行となります。4年生がはじめての夏期学校で知らずにやって怒られることはあっても、普通5、6年生になるとこちらが何も言わなくてもきちんとしてくれることがほとんどです。

が、今年は、はじめてだったため、夜遅くなくても喋っていたり、早朝も自分が目を覚ましたら騒ぎはじめるなど、やはりそこは積み重ねの大切さを実感しました。

夕方には修学旅行委員と班長、副班長と職員で集まり、ミーティングを行いました。自分たちの生活を自分たちで良くすることを経験しました。出発前の修学旅行委員の集まりで生活の目標や生活の決まりを考えて、ということから始まり、旅行当日に班長、副班長から全員に必要な事項を伝えてもらって、ということができました。

当日、残念ながら参加できなかった子たちもいましたが、おかげ様で参加した子たちが帰ってきてから体調を崩してしまった、ということも一切なく終えることができました。

児童ボランティア

ボランティア担当

東星学園では高学年の宗教委員の児童を中心に、有志を募って「児童ボランティア」の活動を定期的に行っています。

ボランティアで行う内容や実施時間、準備する物は毎週の委員会活動の中で話し合わせ、その時期に控えている学校行事や情勢に沿った内容の活動が行われて



います。これまでには、運動会に向けた校庭の石拾いや草取り、社会貢献活動として通学路にある河川の遊歩道や河原の清掃をしてきました。

活動時間は放課後になるので、遊びたい気持ちを持ちながらも毎回多くの児童が参加しています。放課後に参加できない低学年は、お昼休みに集まって校庭の清掃活動を行いました。日中の暑い中、顔を真っ赤にしながら一生懸命活動に取り組みました。

また、清掃活動だけでなく新しい形の活動をしたいという意見から募金活動も行いました。ウクライナ情勢に関するニュースを見た子どもたちからウクライナに向けて何かできることはないかと意見が上がり、募金という形で支援しようとなりました。

校舎内にポスターを掲示したり、各クラスに呼びかけをしたりと積極的に周知し、多くの児童・ご家庭に協力していただくことができました。お小遣いの中から自分が出せる精一杯の金額を持ってきた児童の心温かさは、神様を通して困っている人のもとに届くと思えます。

今回の募金で集まったお金は、世界の子どものための国連機関・UNICEFに送り、ウクライナの子どものための支援のために役立てられます。

楽しいクラブ活動

クラブ担当

東星学園小学校では、4年生になると週に1度のクラブ活動が始まります。4, 5, 6年生が学年の枠をこえて交流し、自分の「大好き！」にじっくり向き合うことが出来る貴重な時間です。運動が好きな子は野球部や卓球部。じっくりものづくりをしたい子はアート部や手芸部など、6つのクラブから好きなクラブを選んで活動しています。ある日の野球部に密着…！
「ナイスキャッチ！」

毎週、校庭に明るい笑い声が響いています。4月に初めて野球のグローブやバットを握った子ども、ぐんぐんバッティングやキャッチボールの腕に磨きがかかり、試合が出来るまでに上達しています！

続いてある日のアート部に密着…！アート部では10月に行われる東星バザーに向けて商品の制作に励んでいます。昨年度、一昨年度とコロナウイルス感染症の影響でバザーが中止になってしまい、久しぶりのバザー開催に、今年は例年以上に張り切っている子ども達です！

カレンダーや消しゴムハンコなど、みんなに喜んでもらえるように試行錯誤しながら頑張っています。当日どんな商品が並ぶかお楽しみに！



幼稚園

うんどうかい

幼稚園職員

東星学園幼稚園のうんどうかいは、どんな競技をやりたいか、年長を中心に子ども達と決めるところからスタートします。どんな競技が出来るのか、使う道具、ルール、子ども達と一緒に考えて、実際にやってみて決めています。うんどうかいで一番盛り上がるリレーについてご紹介します。

ここ数年、リレーは年長 vs 年中で行っています。さすがに年中だけで年長には敵わないので走る距離を変えたり、年中チームに職員を入れたりして“ハンデ”をつけ、接戦になるようにしていました。今年のリレーは年長から「年中年長混合のチームでやりたい」という意見が出たため、初めて年齢混合チームで競うことになりました。実は、リレーの練習は前年のうんどうかいが終わってから始まっています！毎年リレーは前年の年長が年下の子達に教えており、何となくみんなルールを知っており、外遊びの時間にゲーム感覚でやっている姿を見かけます。うんどうかい前になるとゲームではなく、年長は「勝敗」にこだわるようになります。今回の年齢混合チームで難しかったのはチームとし

での連帯感だったような気がします。練習中、こんなことがありました。自分にバトンが回ってきた時に負けていると、悔しくてバトンを投げてしまったり泣いて走らないこともあった年中の男の子。みんな勝ちたいという気持ちは同じでも、その子にとって「チームが」ではなく「自分が」勝てたかどうかにかまけていたのだと思います。しかし、負けて悔しい思いをするのは同じチームの仲間です。そんなことが続いたある日、アンカーの女の子（年長）が「私が最後まで頑張って抜かすからバトンを投げないで走って」と男の子に言いました。その日から、男の子は自分の番で負けていても泣かずに走るようになりました。

初めて年齢混合チームでリレーを行い、年齢によるリレーへの取り組みの姿勢、気持ちの入り方に違いがあり、難しいこともありましたが、しかし東星学園幼稚園の普段の「縦割り保育」そのものをうんどうかいでも体現出来たのではないのでしょうか。子どもの意見やアイデアを生かし、子ども同士で育ちあう、そんな姿が見ることが出来たと思います。



畑で育つ子ども達の姿

幼稚園職員

今年の畑は事件がたくさんありました。その中の1つじゃがいも。ニジウヤホシテントウというじゃがいもの葉を好物とする虫が大量発生！畑のじゃがいものほとんどが食べられてしまいました。

年長の子と年少の子と一緒に畑に行った時の事です。じゃがいもの葉が虫に食べられていたのを見て「ん？」と不思議な顔をしていた年少さん。年長の子がその様子に気づき、すかさず葉を一生懸命見始め、「あっ！この虫が葉を食べちゃう虫だよ。」と虫を捕まえて見せてくれました。実は数日前に年長さんが、葉が食べられ

ていることに気づき図鑑を使って調べていたのです。子ども達は自分達が調べたこと、知っていることを小さい子に自然と教えていました。自然と自分達で教え合う姿を見て暖かい気持ちになりました。

年長の子も自分が小さい頃に年上の子に優しく教えてもらった経験があったのでしょね。こうして次の年につながっていくのですね。

今年は例年通りの畑の野菜大量収穫は叶いませんでしたが、幼稚園では食事の時間に職員が調理していただきました。1番人気はじゃがいもをスライスして揚げたポテトチップス。パリパリと良い音をたてて食べていました。野菜が苦手な子も昨年から少しずつ食べられるようになり、今年はなんと自らトマトやきゅうりを手にし、口に運べるようになりました。「お友だちと一緒に育てた野菜はおいしいから。」と少量ではありましたが食べられるようになりました。

広 報

本学園の広報活動についてお知らせいたします。

【中学校・高等学校】

第2回学校説明会 12月3日(土)

【小学校】

第6回 学校説明会 10月 8日(土)
 第1回 入学試験 (A日程) 11月 1日(火)
 第1回 入学試験 (B日程) 11月 2日(水)
 第2回 入学試験 11月19日(土)
 第3回 入学試験 12月 3日(土)
 第4回 入学試験 1月14日(土)

公開授業期間 11月1日(火)～2日(水)
 11月8日(火)～11日(金)

中学入試体験・解説会 12月17日(土)

～入学試験～
 高校推薦入試 1月22日(日)

学園行事予定 (2022年10月～2023年1月)

	中学校・高等学校	小 学 校	幼 稚 園
10月	<ul style="list-style-type: none"> 後期始業式 赤い羽根共同募金 体育祭 高1・2学カテスト 東星バザー 	<ul style="list-style-type: none"> 後期始業式 第6回学校説明会 体育祭 東星バザー 	<ul style="list-style-type: none"> 衣替 体育祭 遠足 東星バザー
11月	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業期間 校外学習 学習参観・学級懇談会 中間テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回入学試験 (A日程・B日程) 3年生遠足 2年生遠足 6年生懇談会 1年生遠足 第2回入学試験 授業参観日 	<ul style="list-style-type: none"> さつまいも掘り 七五三のお祝い会
12月	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会 中学GTEC 高等部学習旅行 入試相談期間 中学入試体験・解説会 終業日・クリスマス会 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生懇談会 3年生懇談会 第3回入学試験 4年生懇談会 2年生懇談会 5年生懇談会 終業日・クリスマス会 スキー教室 	<ul style="list-style-type: none"> 冬野菜の収穫 ロウソク点火の集会 聖ニコラオのお祝い会 クリスマス会、終業式
1月	<ul style="list-style-type: none"> 始業日 高2模試 高1学カテスト 高校推薦入試 英語検定 中学学カテスト 漢字検定 	<ul style="list-style-type: none"> 始業日 給食開始 第4回入学試験 3年生クラブ訪問 低学年朗読大会 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期始業式 身体測定 満3歳児参観、懇談会 年少参観、懇談会 年中参観、懇談会 年長参観、懇談会 防災訓練

園児・児童・生徒の活動報告

第59回清瀬市夏季青少年卓球大会

小学生女子の部

優勝 6年いちよう組 O・K



編集後記

暑かった夏が終わり、夕方にもなると、虫の声が聞こえてきます。
 ようやく過ごしやすい時期になりました。
 学園もこれから行事が目白押しです。
 どの行事も無事に終わられますように。

(編集担当)